

# 石クリ通信

## 9月号

はじめまして

事務 吉田 政子

はじめまして。この度、勤務させていただく事になりました。吉田政子と申します。まだまだ不慣れで、皆様にご迷惑をお掛けする事も多々あると思いますが、少しでも早く仕事を覚え精一杯頑張りたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

ウェブ会議

院長 石川 悟

新型コロナウイルスの感染拡大から講演会や会議がもっぱらインターネットを使ったものになっていきます。ZoomやTeamsなどいろいろ、コロナが流行する前は聞いたこともないソフトウェアが、何回か参加するうちにコツがわかり、非常に有用であると思うようになりました。コロナが終息した後でもウェブ会議が無くなることはなさそうです。

ただ先日残念なZoomの会議がありました。主催者が慣れないのか段取りが悪く、インターネットの回線も旧式なためか、音声途切れ途切れ、画像も時々静止してしまいうようなものでした。また発表する人もスライドなどの準備がななく、内容を聞き取ろうとしても困難で、参加したのを後悔しながら終わってしまいました。

お盆休みは、新型コロナウイルスと長雨でどこにも出かけることがなかったため、Zoomの本を買い、少し勉強、ウェブ会議を主催できるまでになりました。しばらく会っていない遠方の友人たちや親戚もいるので、これからZoom飲み会や情報交換の会をやるうと思っております。

大丈夫？ パート2

事務 森 多加子

7月号で次男が運転免許の教習所に通っていることをお話ししましたが、無事に免許を取得することが出来ました。ペーパードライバリーにならないためには、とにかく実践あるのみと本人はやる気満々。

私は助手席に座らされ、いざ出陣！

『教習所では目視して教わりました。』と、後ろを向いてじっくり確認。お願いだから前見て〜と叫びながら、右足は助手席にはないブレーキを踏んでるつもりでチカラが入ります。安心してとなりに乗れるのはいつになるかわかりません。

十年ひと昔・・・

事務長 石川 都

二〇一一年の震災一か月後、院長の還暦誕生日の四月八日に開院した当クリニックも、おかげ様で無事十年を経過し、十一年目に入りました。思えばあつという間だったような・でもやはり長かったような・さまざま感慨が胸をよぎります。

震災時は、スタッフ皆で電子カルテの講習中で、その後の停電や断水でライフラインも途切れ、一時は開院も延期か？と危惧したものの、様々なアクシデントも乗り越え、ようやく何とか予定通り開院にこぎつきました。その節には、えじり内科クリニックの江尻成昭先生はじめ、工家設計の飯塚親治さん、あおぞら薬局の山崎隆博さんなど、実に多くの方々が大変お世話になりました。

開院時は院長の他、妻(都)の事務長、長女(恵)の薬剤師、二女(香)の受付事務、院長妹(雅子)の検査技師と石川家総出の院内制手工業の様相を呈していました。そして当時のスタッフは、看護師の清水早苗さん、澤田彰子さん、看護助手の柴田さち子さん、事務の益子幸一さんの四人でした。

その後受付事務は、益子さんの退職や香の転居を機に、数人の方が入れ替わり、田所弓佳さんが五年前から、そして昨年からは森多加子さんが加わり、田所・森体制となりました。そしてこの八月に田所さんが退職し、その後任に吉田政子さんが入ってくれました。森さんも吉田さんも医療事務経験の長いベテランなので、私たちもとても心強く思っています。

看護師も、二年前に高山(清水)さんが定年退職し、後任として日病泌尿器科の経験豊富な太田小百合さんが来てくれ、こちらもベテラン澤田・太田体制です。

こうして開院以来、この金沢の地で、小規模ながら高い専門性と温かな雰囲気とを合わせ持つ泌尿器科+内科のクリニックとして、院長はじめスタッフ一同この十年間精一杯努力してきました。最近はこの近隣にもクリニックが増え、地域の人々にも喜ばれています。当院も他の医療機関と連携しつつ、これからは開院以来のモットー「人に優しい医療」をめざし尽力してゆく所存です。皆様の当院への忌憚のないご意見ご要望もお待ちしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

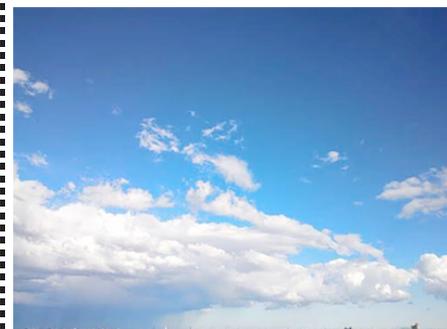


残暑お見舞い申し上げます

看護師 太田 小百合

暑いです(すねえ)。空を見上げると、綿菓子みたいな白いもくもくとした雲が見えました。まだまだ夏は終わらない・・・といった感じです。

この雲を見ると、なんだか元気が出てきて、海や山へと出かけたくなります。コロナはまだまだ心配ですが、近場から出かけてみようと思えます。



東京オリンピック

看護師 澤田 彰子

コロナ禍の大変な時でしたがオリンピックが開催されましたね。私は2年前のチケット抽選に外れていたのですが、予定通り自宅でテレビ観戦しました。自国開催で時差もなかったのですが、結構遅い時間まで競技していたので睡眠不足になりました。今大会から新種目も加わり十代の若い子たちの活躍も素晴らしいですね。3年後のパリ大会では今までの様にスタジアムで観戦できるといいですね。

オリンピック

看護師 柴田 さち子

コロナ騒ぎの中、ようやくオリンピックを開催することができました。参加者は二〇〇カ国の六〇〇〇〇人日本からは一五五名の選手団、一八二四台のドローンの希望の光が、地球の形へと姿を変える素晴らしい演出の開会式でした。そして十七日間のアスリート達による熱い戦いが始まり、選手一人一人が見事に成果を出し、私たちに感動を与えてくれました。

ありがとうございます！  
そしておめでとう！  
う！日本のメダルは、金二七個、銀十四個、銅十七個、計五八個でした。選手の皆様、本当に疲れ様でした。

